

シャロームだより 6月号

梅雨のシーズンがやって来ました。ムシムシ・ジメジメが続き、子ども達の機嫌が悪くなってくると、お母さん方のストレスも最高潮に！そんな時にはぜひ支援センターを利用してください。誰かと話すことで、気分がスッキリすることもあります。そして、子ども同士で適度な刺激を受ければ、きっとお家に帰ってから心地よい眠りにつけることでしょう。

6月は「ママフィット」や「コネコネせっけん作り」、「うたのたからばこ」などのイベントもありますから、ぜひお友達を誘ってお越しください。



しつけて何だろう

しつけの基本はこの3つの柱

1 生活習慣の自立

私たちは朝起きて夜寝るまでの間に、さまざまなことをしています。顔を洗い、食事をし、歯を磨き、着替え、室内を整え、食事の準備をし、洗濯をし…。数え上げるときりがありません。これを一つひとつ学んでいくのが幼児期です。なかでも、「起床・就寝」「食事」「着替え」「排泄」といった身辺自立にかかわるしつけは、3才くらいまでにひととおり教えていくことが大切です。



自分のことは自分でする



2 人と上手にかかわれる

人はだれしも、一人では生きていけません。支え合い、理解し合い、豊かな時間を過ごせたとき、私たちは「幸せ」を感じるからです。赤ちゃん時代からこの関係の最初のステップは、親子のかかわりです。赤ちゃん時代からこの関係を大切に育てながら、少しずつこどもにかかわる人間関係を広げ、サポートをしましょう。相手の気持ちをわかろうとしつつ、ときには主張し、ときには引き下がり、折り合いをつけながら関係を築くことの大切さを伝えていくことも「しつけ」の一つです。



お友だちとは仲よくね



3 社会のルールを守れる

社会にはさまざまなルールがあります。「人を殺してはいけない」などの法律に定められたものから、「挨拶をしよう」「順番を守ろう」といった公共のマナーまで。大人には当たり前にも思えても、幼い子どもにはなかなか理解できないものもあります。年齢に合わせて一つずつ教えていき、最終的にどんな場面でも適切な判断ができるようになるのは思春期以降です。



人に迷惑をかけちゃダメ



はじめてパパ&ママのしつけと脳育
主婦の友社より